

プログラム名 (40字以内)	東大×「街」のない「まち」の地域活性化・観光促進対策とは？		
団体名/所属	白子町役場 企画財政課		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	まちづくりに関心のある方		
活動期間	2024/9/11(水)～9/13(金)	主な活動予定場所	白子町
プログラム実施の目的	白子観光リスタートプラン 商店『街』温泉『街』中心市『街』地の無い白子町の観光活性化策を学生視点で。		
具体的な内容(800字程度)	<p>首都圏からの「タビサキ」として、魅力的になれるのか？白子町が輝けるのか？ 白子町+(白子町プラス)として、周辺自治体との広域観光としての視点はどうか？</p> <p>上記の狙いに沿って、学生たちに「白子町」をフィールドとして以下のようなプログラムで来年度取り組んでいただきたいと存じます。</p> <p>「白子観光リスタートプラン」 具体的コンセプト:資源(ビーチ、白子温泉(ガス田由来のヨウ素・ヌルとした黄金の湯)、宿泊施設(昭和時代にテニス合宿で潤っていた)、白子神社等)を生かし切れていない現状を実際に現場で見てもらい広域観光(一宮でサーフィンをしてもらい宿泊は白子でも含めて課題解決(白子に滞在する、お金を落とす仕組み、立ち寄り客の創出)を、学生の視点でひねり出してもらいたい。 具体案(課題解決型フィールドワーク) 東大×「街」のない「まち」の地域活性化・観光促進対策とは？ 観光資源の要素としては、九十九里浜ビーチ、海、白子温泉、宿泊ホテル、白子神社とあるが、点に集客できてエリアとして稼げる観光となっていない。少子化でテニス合宿も減少。 その中で滞在時間を増やすこと、あるいは一宮でサーフィンするなら「ついでに白子町に寄ってみよう」という「立ち寄り客の創出」、等をどんな仕掛けで成立させるのか？具体体施策に落とし込んでもらいたい。</p> <p>1日目:(無いものを実感する) 温泉「街」、商店「街」、中心市「街」地(役場周辺)をみていただく～ 平坦な白子町なので(5キロ四方、25Km)自転車で各々町内を探索してみる</p> <p>2日目:(あるものを見る・実感する) 各々ビーチ(砂浜・海)、ホテル、温泉、白子神社、田園風景等を自転車で回って自分の目で確かめてもらう。</p> <p>3日目:プレゼンテーション 白子町役場内</p> <p>【現地写真】 https://univtokyo-my.sharepoint.com/:f/g/personal/4928854694_utac_u-tokyo_ac_jp/Enmk3xy89-tPlqPQ4_z2R-kBxHXBpFy8KrOsVuGP9rEOWg?e=66gkKc</p>		
【総額】参加するための費用	約35,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	2泊3日(3万円内)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	交通費(5千円内)		
【内訳】参加するための費用(その他)	特にありませんが食費は別途各自にて		
奨励金額(予定)	13,000円		
備考	<p>最終日に庁舎内での発表会を予定しています。プレゼン用のPC、モニターは用意しますが、発表する企画内容を作成するツール(PC等)はご自身でご用意をお願いします。</p> <p>自転車は白子町が用意します。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://shirako.net/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.town.shirako.lg.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		